

科目名	ビジネスモデル	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	桑原 悟		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-440002	経営情報学部C：情報や情報システムの利活用方法を習得し、仕事や生活に活用できること			
授業の目的	<p>情報システムは、組織の既存業務の効率化や精度向上などを狙って導入されます。しかし、対象となる業務は、担当部門にとっては“常識”でも、システム開発側にとっては、“未知のモノ”であるかもしれません。</p> <p>一方で、論理的、機械的に振舞うコンピュータを活かすには、その特性を理解していなければなりません。システム開発側は、これらを理解していますが、業務担当部門側は理解しているとは限りません。</p> <p>そこで、双方を繋ぐために行われるのがモデル化です。この授業では、情報システム化の対象としての組織（会社など）内の典型的な業務の情報モデルについて学びます。</p> <p>また、情報通信技術を前提にした新しいビジネスの形態についても紹介します。</p> <p>この授業は、経営情報学部のディプロマポリシーのうち、『情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できる』に対応しています。</p>				
学修到達目標	企業内の代表的組織の業務を情報システム化を睨んだ情報モデルの対象として理解できる。				
実務経験との関連性	三菱電機株式会社において、社内情報システムの開発を担当し、社内のビジネス情報モデルの分析、再構築を担当した経験に基づく授業を行っている。				

授業計画	
第1回	授業のオリエンテーション、ビジネスモデル及び情報モデルと企業活動
第2回	流通業の形態
第3回	流通業の情報モデル（1）販売管理

第4回	流通業の情報モデル（2）在庫管理
第5回	流通業の情報モデル（3）利益管理
第6回	流通業の情報モデル（4）販売分析
第7回	製造業の生産形態と方式
第8回	製造業の情報モデル（1）資材計画
第9回	製造業の情報モデル（2）部品展開
第10回	製造業の情報モデル（3）在庫管理, 購買管理
第11回	製造業の情報モデル（4）能力計画
第12回	製造業の情報モデル（5）品質管理
第13回	製造業の情報モデル（6）損益管理

第14回	企業組織と情報システム開発, ネットビジネスの創出, ビジネスモデル特許
第15回	まとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間 事前配布資料による予習
【復習】時間・内容	2時間 ノート、事前配布資料、授業中小問（正解）による復習

成績評価	
評価基準・方法	成績評価は定期試験100%とする。
フィードバック方法	定期試験の結果については、大項目ごとの平均点を示して結果のフィードバックを行う。 各回の授業中に小問を課し、これの答え合わせをすることで、フィードバックをする。（小問は、成績には関係しない。）

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	資料を学内ネットワークに掲載する予定である。
受講上の留意点等	<p>注) 受講する学生の理解度により講義順序や分量を調整することがあります。</p> <p>受講の前提条件はありませんが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学 1, 2, 組織と経営の単位を取得していることが望ましい。 ・基礎自由科目「数学基礎」の履修を指導された者は、これを履修していることが望ましい。 <p>授業に集中している学生や教員の邪魔になる行為をするものは退出させます（出席を認めない）。</p> <p>質問は歓迎するので、遠慮なく質問してください。</p>
JABEE	